



今年の夏は

デフリンピックを応援しよう!!

平成 29 年 7 月 18 日～ 30 日の期間、トルコのサムスンに於いて夏期デフリンピックが開催されます。

ここで改めてデフリンピックの事についておさらいしておきましょう。

デフリンピック (Deaflympics) は、一般的に知られているオリンピックと同様に 4 年に 1 度、世界規模で行われる競技大会で、夏季大会 (20 競技) と冬季大会 (5 競技) があります。

名称の由来は、ろう者 (Deaf) とオリンピック (Olympics) を合わせた造語で、ろう者のオリンピックの意味で現在の名称となったのは 2001 年から。

デフリンピックの歴史は古く、夏季大会の第 1 回目は 1924 年 (大正 13 年) にフランスのパリで、冬季大会は、1949 年 (昭和 24 年) オーストリアのゼーフェルトで開催されました。日本選手団が初参加したのは、夏季大会は 1965 年 (昭和 40 年) の第 10 回大会、冬季大会は 1967 年 (昭和 42 年) 第 6 回大会。夏季大会は初参加で銀メダル 1、銅メダル 1、入賞 1 の成績を収めています。



実はこのデフリンピックに、岐阜県出身の女子バレーボール選手が出場されていることは、ご存知でしょうか？

第 22 回夏期デフリンピックソフィア大会 (ブルガリア) には、2 名 (銀メダル獲得)、そして今年開催されるサムスン大会においても 1 名の出場が決定しています。ぜひメダルを獲得していただきたいですね。

最近はインターネットでの情報配信も行われているので、日本に居ながら試合の様子を知ることができます。ぜひ、大会期間中は各ホームページなどをチェックしてみてください。



●全日本ろうあ連盟デフリンピックページ (日本選手団の名簿あり)

<https://www.jfd.or.jp/sc/samsun2017/>

●全日本ろうあ連盟デフリンピック啓発ウェブサイト

<http://www.jfd.or.jp/deaflympics/>

●第 23 回デフリンピック現地主催者サイト (英語)

<http://www.deaflympics2017.org/en/home-page>

【寄贈 DVD: 教えてタモちゃん (手話・字幕)】



平成 28 年 4 月 1 日に施行された法律を皆さん覚えていらっしゃいますでしょうか。

障害者差別解消法がスタートした日です。あれから 1 年経過したわけですが、世間ではなかなか理解・周知不足と感じる残念なニュースを見かけることがあります。では障害者差別解消法の中で謳われている「合理的配慮」とは一体？

この DVD では、聴覚障害者に対する合理的配慮を欠いたシーンをドラマで再現し、その対処方法を弁護士の田門 浩 氏が手話で解説しています。

広く普及させる目的もあるため、情報センターでの貸出も行っており、学習教材としてもぜひ一度ご覧になってみて下さい。また関係団体への寄贈も予定しておりますので、関係団体会員の方は、団体事務局等にお問い合わせ下さい。

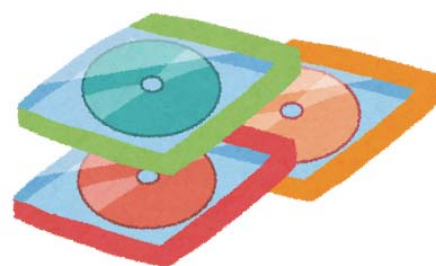
【字幕付きライブラリーからのお知らせ】

平成 28 年度のビデオライブラリーが到着いたしました。

今回入荷したタイトルの一例として、「羅生門」や「黒い画集」「点と線」「トラック野郎」など昔懐かしい映画も入荷しております。

もちろん、お子様向けのアニメ（アンパンマン、ちびまる子ちゃん、妖怪ウォッチなど）や、健康に関するものもありますよ。

今までに入荷した全リスト（自主制作分を含む）はホームページ等に掲載されていますので、ご覧になってみて下さい。また遠方の方で直接情報センターに来所できない方は、郵送でも無料対応いたしますので、ぜひご利用になってみてください。詳細については情報センター事務局まで、お問い合わせ下さい。



【聴覚障害者セミナー】

予告!

「かがやきがある金沢の魅力」

平成 29 年 8 月 12 日(土)に聴覚障害者セミナーの開催を予定しています。講師は、2015 年 4 月から石川県金沢市で始まったろう者による手話観光ガイド「かがやき R」代表者の吉岡真人（よしおか まこと）さん。

同年 6 月にメディアで紹介されたこともあり、ご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

また実際に金沢への旅行で、手話観光ガイドを利用された方もいらっしゃるかもしれませんね。

今回のセミナーでは、手話観光ガイド「かがやき R」を設立するに至った経緯や、実際にどのような活動を行っているのかをお話していただく予定です。どうぞご期待下さい。

セミナー参加申込用紙は、「ろうあ岐阜」7月号に折り込まれる他に、情報センターのホームページ等でお知らせ致しますので、しばらくお待ち下さい。

会場の都合上、必ず事前申込をお願い致します。参加対象者は【県下聴覚障害者】です。

生活講座の案内を動画で配信しています



いつも皆さんに参加していただいている生活講座の案内について、改めて告知させていただきます。

現在、3か月に一度、案内チラシを作成し聴協会員に対しては、機関誌のろうあ岐阜への折り込み、その他には関係団体への送付、市町村福祉課、情報センターでの配布、ホームページ等での公開と様々な方法で告知させていただいております。

昨年度末からは試験的ですが、文章が苦手であろう聴覚障害者に対し、手話で講座の内容を伝える手段として動画配信を行っています。

動画を見るには、スマートフォンまたはパソコンなどインターネットを利用できる環境が必要ですが、特に文章や白黒画像では伝わりにくい手作り講座の見本などを、お見せできるものになっています。

ぜひ、視聴していただき申込みをお願い致します。お友達にもご紹介してくださいね。

動画は Youtube（ユーチューブ）で公開していますので、スマートフォンやタブレットでは Youtube アプリで、パソコンも同様に、youtube (<https://www.youtube.com/>) の検索部分に「岐阜県聴覚障害者情報センター」と入力することで動画を見られます。

また右の QR コードを読み取る事で、直接動画を見ることができます。



(動画での作品見本紹介)



電話お願い手帳 Web 版／アプリ版の紹介



NTT より配布されている「電話お願い手帳」がスマートフォンのアプリ版（無料）と Web（ウェブ）版で提供が開始されました。

スマートフォンをお持ちの方はアプリを入れて、折りたたみ携帯電話の方は Web 版のご利用が可能です。

いざという時のために、ご自身や家族などの名前などの基本的な情報を登録しておきましょう。

緊急時や何かをお願いしたい時は、携帯電話の画面を相手に提示することで、対応していただけたと思います。なお今までの手帳も数に制限がありますが、配布をしておりますので希望される方は、情報センターにお越し下さい。

さらに、FAX ができる NTT のサービスもご紹介致します。

- 「NTT ふれあい FAX」 電話の移転や故障などの相談、サービスの問合せを受付けているサービス。
- 「NTT ファックス 104」 番号案内を FAX で行ってくれるサービス。
- 「NTT ファックス 115」 ファックスを利用した電報サービスです。

※電報サービスはインターネットホームページ「D-MAIL」でも利用する事が出来ます。

詳細は NTT 西日本ホームページ <http://www.ntt-west.co.jp/>

もしくは社会貢献活動（取り組み内容）社会福祉を参照下さい。

<http://www.ntt-west.co.jp/kouken/torikumi/index.html>

※情報センターに電話お願い手帳の PR チラシもございます。



講座開催中



スクラップブッキング 平成29年2月26日

スクラップブッキングとは、海外で人気のある趣味の一つで、お気に入りの写真をメインにして飾り付けることです。

スクラップブッキングには3つの基本的なルールがあり、それらを説明してから、各自作成に取り掛かってもらいました。

参加者の皆さんは、初めてとは思えないほど、イメージが膨らんで色々と工夫して作成していました。選んだ写真の思い出を懐かしみながら作成したり、心をこめて作成したりとそれぞれ

楽しそうに作成していました。アンケートには『休憩するのを忘れた程、無我夢中でした。』『家にあるものを利用して作成できるからまた作りたい。』などうれしい感想がありました。

右の画像は参加者の方が作られた作品の一例です。皆さんそれぞれの思いが込められている作品ができあがりました。



脳トレで認知症予防 平成29年3月9日

『脳トレ』? 何をするのかな? と期待に胸を膨らませながら、早くから椅子に座っていた参加者の皆さん。

いざ始まるとみんなの目がキラキラ。手を使った運動、頭を使った運動、これが見た目は簡単そうで難しい。

さまざまなゲームの最後はジャンケンでした。講師がジャンケンに強いらしくなかなか勝てなかったようです。

実はジャンケンも認知症予防になるそうで、何気ないジャンケンが脳に刺激を与えているそうです。受講を終えた参加者の皆さんの表情は、とても生き生きしていました。笑う事が脳に良い刺激を与えているのですね。



講師の人柄もあり講座中は、終始笑いが止まらない和やかな雰囲気でした。

バネポーチを作ろう 平成29年4月15日

大好評の手作り作品シリーズ。

今回は口が板バネになっていて、ちょっとした小物入れに便利なポーチを作りました。講座中は皆さん黙々と作業されており、部屋に誰も居ないのでは?と思うほどでした。皆さん同じ物を作っているのですが、生地の手柄やデザインで雰囲気が全く違う作品ができあがり、お互いに評価しあっている様子がうかがえました。



左のQRコードを利用すると、情報センターのブログ、LINE、Facebookに簡単にアクセスできます。ぜひご利用下さい。

